

新宗教新聞

信教の自由を守ろう

宗教協力を進めよう

世界の平和に貢献しよう

スローガン

続く救命、救援活動 熊本地震

各教団も積極的に支援

物資搬送、人的派遣、義捐金協力、施設に受け入れ

4月14日午後9時26分に熊本県熊本地方を震源として発生した「熊本地震」は、現在も余震が続き、熊本、大分両県を中心に甚大な被害をもたらした。

新宗連 AMDAに救援金 寄託

AMD Aに救援金 寄託

AMD Aに救援金 寄託



住民の避難を受け入れている立正佼成会熊本教会へ、近隣の教会から飲料水や食糧などが届けられた(4月18日、写真/立正佼成会提供)

AMD Aは4月18日から20日まで、被災地に3人の本部職員を派遣。熊本県と大分県にある教会、信者に救援物資を届けることも、現地状況を視察。今後本部で現地調査の報告を受け、支援活動を検討する予定。また全国各教会に義捐金の協力を呼びかけている。

平和学習会が始まる

新宗連 全国の総支部、協議会

新宗連は昨年引き続き、全国で平和学習会を開催。今年度は「一億市民の確立を求める運動」の一環として新たに作成した「平和学習会」教材として「信教の自由」と題した教材について学ぶ内容。4月から総支部、協議会での開催が始まった。

役割を再確認

第28期第2回評議員会

新宗連

新宗連は4月5日午後3時から、東京・代々木の立正佼成会館で第28期第2回評議員会を開催。今回の評議員会は、第29期役員候補者選考委員会委員の選任のために開かれた。

そうだ選挙に行こう

今夏から18歳選挙権が適用

①

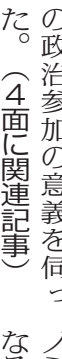
選挙権年齢を18歳以上に引き上げる改正公職選挙法により、今年7月の参議院選から「18歳選挙権」が適用される。18、19歳の有権者数は約240万人。若い有権者の一

公約等を読み込み判断を

選挙権を行使し、立候補も

「バラ色(はらまき)」を語る政治家にだまされてはいけない。日本の民主主義は「シルバード」であり、いかにして自分の利益を実現するかが、重要な課題である。

若人たちは、高齢者に対抗していかんにか、自分の利益を実現する。これは、若者の政治参加の課題である。



薬師寺克行氏

晋三政権の経済政策「アベノミクス」の評価が焦点になる。野党は安全保障法制を争点とし、安倍政権の経済政策の是非、多くの国民の関心は、より身近な生活の安定、景気の動向などである。

政治の役割

1980年代まで続いた政治の役割。若人たちは、高齢者に対抗していかんにか、自分の利益を実現する。

若人たちは、高齢者に対抗していかんにか、自分の利益を実現する。これは、若者の政治参加の課題である。



薬師寺克行氏

晋三政権の経済政策「アベノミクス」の評価が焦点になる。野党は安全保障法制を争点とし、安倍政権の経済政策の是非、多くの国民の関心は、より身近な生活の安定、景気の動向などである。

若人たちは、高齢者に対抗していかんにか、自分の利益を実現する。これは、若者の政治参加の課題である。

宗教もしも相談室 3466-9900

現代世界と宗教の課題 宗教問答と公共哲学

清文社 宗教法人の 税務調査対応ハンドブック

芸術生活社 老春謳歌 長生きの秘訣

法律文化社 宗教関係者 宗教法人法制と 税制のあり方

神宮祭祀の研究 中西正幸

友を救う 太田哲二著

法華経 日本語訳 ひろさちや

合掌ができない 子どもたち

現代世界と宗教の課題

宗教もしも相談室

第1回委員会で議案を審議、承認

結成55周年事業概要を検討

【ユースフォーラム2016】7月の呼びかけも

新日本宗教学会連盟(思親会、伊藤徳亮副委員長、岩淵明大委員長、岩淵明大委員長、岩淵明大委員長)の再成会、新に副委員長(立正佼成会)を新たに副委員長に推薦する(第29期役員体制案を提案し、これを承認)。

16日は午後3時に開会。岩淵明大委員長(松緑神道大和山)、内島東親副委員長(松緑神道大和山)が出席した。

連会 宗青 新青年

7月に開催する「ユースフォーラム2016」を受け入れの新しい宗青青年会中部連盟(青中連)の委員らが説明を行い、参加の呼びかけを行った。また、来年度の受け入れ連盟を新日本宗教学青年会北関東連盟(青中連)の本部・さわやか

天真大真義文を唱え練り歩く

天真教

天真教(神出修二教主)は3月20日、三重県伊賀市の本部で「第45回世界助けの聖観音像春季大祭」を執り行った。聖観音像は「神名・大納言之宮千願不動慈悲菩薩千手観音大権現像」として1972(昭和47)年3月に故神出房江教祖が祀ったもので、春秋彼岸の中日に開扉し大祭を行っている。

各地で春の大祭

立教100年に向け、一致協力

円応教

円応教(深田充啓教主)は4月2、3の両日、兵庫県丹波市の本部聖地内の本殿礼拝所で「春季大祭」を執り行った。両日も午後零時半から開式。3日の式典は、深田充啓教主の入場の後、9人の女性が献花・献饌・献茶の「献上の儀」で真殿を荘厳し、深田恵子教主を主導師におよび、平成27年度の教勢努力によって教団への貢献が著しい教会に対して表彰が行われ、深田教主、深



深田教主は「御親教」に立ち、朝目覚めて外を眺めると「桜が目に映った。深田教主の7人の弟子の一人が、教祖の霊刀の正邪を確かめるために短刀を隠し持っていたが、短刀の存在を知らないはずの

14式典」については、第50回と同様の規模でのテントやモニター設置のために必要な経費を、結成55周年事業の積立金から充当することを提案し、これを承認。第52回以後の経費確保の方途については継続的に審議していただくことを確認した。

地方連盟 議論通し気付き

委員交流会行

青北連盟は3月19日20日、青北連盟の受け入れて「平成27年度委員交流会」を開催した。19日午後零時45分から、高崎市の救世真教(新井光興会長)の本部・さわやか



「花園のお地場」まで、教主の神出修二教主に「天真主之命」を遷座した。この後、紅白の花傘、福寿旗、剣持ち、槍持ち、七福神、斎主、神輿、轎を執った信徒らが平安城前を出発し、大鼓に合わせて天真大真義文「無一我無也」と唱えながら、「花園のお地場」まで練り歩いた。

将来を見据え、周辺環境を整備

楠宮界教団

楠宮界教団(林玄光法主)は4月8日午前9時半から、大阪府交野市の本部紫雲山光明寺で「春季大祭」を執り行った。林玄光法主が修祓を行って御開祖感謝祭を厳行した。



「朝夕礼拝神詞」を全員で奏上した後、「勸行要文」を奉読する林法主

参拝者が順次、厳かに玉串を奉奠

玉光神社

玉光神社(本山・博宮司)は4月8日午前10時から、東京・井の頭の神社本殿で「春季大祭」を開催した。雅楽が流れる中、斎員が入場。「祝詞」を奏上。「大幣」の後、「御降神願」を行い、祭壇奥の扉が開かれ、「浦安の舞」など奉納し、大祭を祝い合員で奉唱した。



玉光神社(本山・博宮司)は4月8日午前10時から、東京・井の頭の神社本殿で「春季大祭」を開催した。

3総支部で会長選出

首都圏



島田華代氏

首都圏総支部は4月9日午後、東京・杉並の立正佼成会大聖堂で平成28年度第1回総務会を開催した。平成27年度首都圏総支部事業報告案と決算案を承認。10月の平成28年度首都圏総支部の学習会内容などを申し合わせた。また、教団内人事を行い、閉会した。

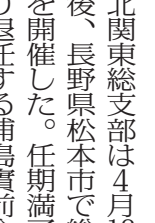
中国



齋藤高市氏

中国総支部は4月14日午後、広島市の立正佼成会広島教団で総務会を開催した。教団内人事動に伴い、島田華代氏(立正佼成会東京教区長・南多摩教区長)を新会長に選出した。

北関東



新井光興氏

北関東総支部は4月18日午後、長野県松本市で総務会を開催した。任期満了により退任する浦島真前会長(解職会相談役)の後任として、新井光興氏(救世真教)を新会長に、松宏志氏(P.L.新潟教区長)と小林正二氏(解職会常任理事)を副会長に選出した。新井新会長は就任挨拶で「私は今年10月54歳となりますが、北関東総支部(1

5月に立教50周年、一丸で精進

救世真教

救世真教(新井光興会長)は4月17日、群馬県高崎市本部救世真教で春季大祭を厳行した。午前10時、みくろ太鼓とともに開扉。「誓い信条」の朗読の後、「立教祭祝詞」を教主の新井光興会長が奏上した。斎主、参拝者代表による玉串奉奠。「天祝詞」を奏上し、「春季大祭御歌奉唱」に続き、「教主様へ感謝の礼拝」「萬霊位に供養の礼拝」を執り行った。立教50周年企画「信仰を振り返って」では加藤弘泰氏を奉納し、聖地内の修行道「流汗悟道」2千回登山達成の表彰が行われた。



救世真教(新井光興会長)は4月17日、群馬県高崎市本部救世真教で春季大祭を厳行した。

徳を積み、素直な気持ちで

八津御嶽神社



「御教誨」で反省することの大切さを語る山本宮司

八津御嶽神社(山本行徳宮司)は4月17日午後2時から、東京都中野区の本部で「春季大祭」を開催した。参拝者全員で「中臣の天祝」を奉唱した後、雅楽が奏でられ、祭主の山本行徳宮司と斎員が昇殿し、着座。「一身貞貴之祝」「修祓」「御戸張開之儀」などを行った。14日からの熊本地震で亡くなった方、被災した方に対し全員で黙祷した後、山本宮司が「御教誨」。「一生懸命生きていくのも思いつりにはないことも多い」とした上で、「過去の自分を思い出し、反省することから、神さまから御加護を頂きます」と参拝者に呼びかけた。また、「素直な気持ちで参拝することは難しい」と述べ、「素直になること、心の濁りを取り除くこと、徳を積みこくこと、濁りが取れ、素直に参拝できます」

【諸会議報告】新しんろーカンで意見交換、提案へ
新築企画委員会(新井光興委員長)は4月4日午後1時半から、東京・代々木の新築会館で第10期委員会を開催した。新築企画委員会は、国際救済活動に関する諸会議を主催する平和歩留会が主催となり、同懇談会を開催することになった。

「妙縁の深さ」説き、精進誓う

報恩感謝大法要を厳修

妙智會教団

大導師一周忌 会主三十三回忌を併せ



宮本法嗣が「祈願文」を奏上。会主の想いと苦勞、大導師の命がけの修行を辿り、両師の遺徳を讃えた

大に修行できたことへの謝辞と、師と仰ぐ会主と大導師とのエピソードを語り、両師への感謝を捧げた。来賓を代表し、金光教皇尾校長の三宅光雄氏があいさつ。大導師から教団の思いを伝える、数々の重宝を受けた思いを披露した。



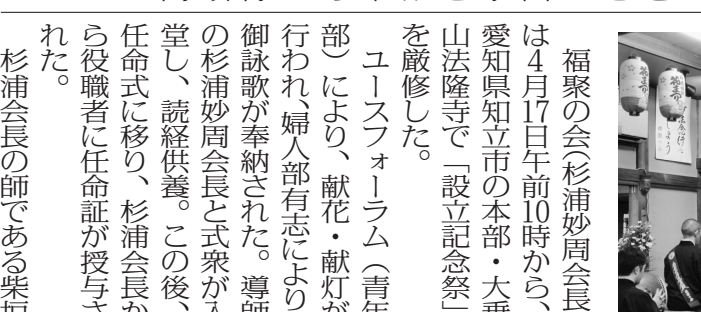
大導師一周忌と併せて、会主三十三回忌の御尊影と御法号を祀り、満堂の会員による交響三唱で開式。両師の足跡と教を辿る映像上映の後、青年部員による献灯・献華・献供の儀が厳かに行われた。

三唱目にあたる28日、宮本法嗣は「祈願文」奏上、会主が開教にかけた想いと苦勞、大導師の命がけの修行などを語り、両師の遺徳を讃えた。三唱目にあたる28日、宮本法嗣は「祈願文」奏上、会主が開教にかけた想いと苦勞、大導師の命がけの修行などを語り、両師の遺徳を讃えた。

報恩感謝を持ち、参拝を

第76回三聖地巡拝 解脱会

東京・四谷の解脱会(岡野聖法主)は4月1日から3日にかけて、「第76回三聖地巡拝」を挙げる。三聖地巡拝とは、1941(昭和16)年に岡野聖法主(解脱金剛尊者)が数名を伴い、伊勢神宮、橿原神宮、御宇泉浦寺を巡拝したことに始まり、翌年以降、毎年4月に行っている。今年も全国各地から多くの会員が参加した。



伊勢神宮の内宮の参拝に向かう参進する一行

福聚の会杉浦妙法会長は4月17日午前10時から、愛知県知立市の本部・大乗山法隆寺で「設立記念祭」を厳修した。

杉浦会長が「新年度あいさつ」を述べ、柴垣聖師の親孝行・先祖供養の教えを解説しながら、「様々な困難があっても、まだまだ有り難いと感じることが多い。不足を感じれば苦しむことになる」と語り、「法華経の教えに自信と信念をもって取り組んでください」と呼びかけた。また「法華経の教えは学問的に学ばなければわからない。この精神を徹底的に学ぶ必要がある」と述べ、「親の慈悲の心を通して、仏の心を知る」と語り、「親孝行・先祖供養の功徳を説いた。

思親会(飯島法道会長)は4月3日午前10時から、神奈川県伊勢原市の聖地で「釈尊降誕会・花まつり」を開催した。

この後、稚児お披露目となり、色鮮やかな冠と上衣、袴をまとった稚児らが入場。稚児代表二人が檀神壇に安置された釈迦像前まで進み、祭文を朗読した。午後1時20分から、インド仏教ガイドで故立川誠志氏の弟子であるマルカス氏が記念講演(写真)。インド・デリー生まれのマルカス氏は、日本の旅行会社に勤務し、思親会はじめ仏教教団などの仏跡案内を担当。立川氏を案内した際、ユーモアあふれる流ちょうな日本語が立川氏の目に留まり、弟子となった。

講演でマルカス氏は、インドと日本の文化の違い、インドの宗教状況などを「仏陀はヒンドゥー教では9番目の神。仏陀を崇拝するヒンドゥー教徒も多い」と語り、例を挙げわかりやすく解説。歴史や文化、宗教、哲学の異なる外国を学ぶことの大切さを語った。

立教70年へ教祖の思い顕現

御神尊感謝祭並びに 善隣教 誕生祭

善隣教(力久道臣教主)は3月20日午前10時から、福岡県筑紫野市の本部で「御神尊感謝祭並びに善隣教誕生祭」を挙げる。これまで御神尊感謝祭に併せて毎年行ってきた力久隆積聖主の誕生祭に加え、力久道臣教主の誕生祭を執り行うのが今回が初。



誕生日を祝い、力久教主に信徒代表から花束が手渡された

団を立教した力久隆積教主(御神尊)から、力久聖主、力久教主へと教と教団が連綿と継承されてきた歴史を、聖主・教主が様々な修行に専念する映像を中心に編集されたもの。上映では、合掌し涙しながら見る信者の姿もあった。

この後、祭典が開式。力久教主が入殿し、祭文の奏上、「自己霊神許齋祀の御儀」「自己霊神許齋祀の御儀」を行い、力久教主が参拝信徒に向かい、「御慈

主はじめ信徒らが行い、祭典を終了した。小憩をはさみ祝賀会が催され、青年部による奉祝アトラクション、信徒と来賓代表の祝辞、花束の贈呈など、聖主73歳と教主46歳を祝う式典が続いた。

誕生会(田中庸仁会長)は4月17日午前10時15分から、岐阜市の総本山真生寺で「創立37周年立教祭」を開催した。

はじめに教団旗と各教会旗の「御旗」に続き、式衆が入堂。壮年奉獻隊が胎内仏を奉納し、青年男子と女子、子ども会員らによる献灯、献供など、奉獻の儀

が厳かに行われた。導師の田中庸仁会長が入堂。婦人部が「ご詠歌」を奉納した後、一同で読経。田中会長は「回向文」の中で、4月14日の熊本地震で犠牲となった御霊の慰霊と地震の終息、復興を祈願した。法要後は、祈禱の功績を讃える「一心行表彰」が行われた。

小憩の後、片岡拓展氏(所沢教会)が体験発表を行い、前立腺がんを田中会長と田中啓二郎理事長(所沢教会)の指導を受けながら、信仰に精進し克服した体験を語った。

続いて田中会長が「ご真教法話」に立ち、病苦、苦境に立つ人々を救い喜びを与える法華経の功徳を説いた。そして「一人ひとりが教えのありがたを分かち合った。

グルーブ法座で信仰体験などを分かち合った。信じて伝えていく。そこから家庭、世界の平和が訪れます」と力強く説いた。

続いて「グルーブ法座」が行われ、4、5人の法座の輪が本堂を埋め、各グルーブの中で日々の信仰体験や教えのありがたを分かち合った。

親の慈悲を通して仏を知る

設立記念祭 福聚の会



導師の杉浦会長と式衆が入堂し、読経供養を行った

導師の杉浦会長と式衆が入堂し、読経供養を行った。法隆聖師の生前の講演(録音)とスライドを上映。続いて、杉浦妙法降誕任役員が、平成28年の方針「妙法急行に徹しよう!」、スローガン「真実の頭われ年・真剣に精進しよう!」などについて説明した。

杉浦会長が「新年度あいさつ」を述べ、柴垣聖師の親孝行・先祖供養の教えを解説しながら、「様々な困難があっても、まだまだ有り難いと感じることが多い。不足を感じれば苦しむことになる」と語り、「法華経の教えに自信と信念をもって取り組んでください」と呼びかけた。また「法華経の教えは学問的に学ばなければわからない。この精神を徹底的に学ぶ必要がある」と述べ、「親の慈悲の心を通して、仏の心を知る」と語り、「親孝行・先祖供養の功徳を説いた。

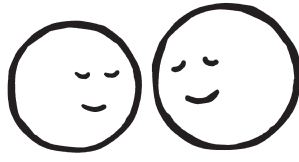
思親会(飯島法道会長)は4月3日午前10時から、神奈川県伊勢原市の聖地で「釈尊降誕会・花まつり」を開催した。

この後、稚児お披露目となり、色鮮やかな冠と上衣、袴をまとった稚児らが入場。稚児代表二人が檀神壇に安置された釈迦像前まで進み、祭文を朗読した。午後1時20分から、インド仏教ガイドで故立川誠志氏の弟子であるマルカス氏が記念講演(写真)。インド・デリー生まれのマルカス氏は、日本の旅行会社に勤務し、思親会はじめ仏教教団などの仏跡案内を担当。立川氏を案内した際、ユーモアあふれる流ちょうな日本語が立川氏の目に留まり、弟子となった。

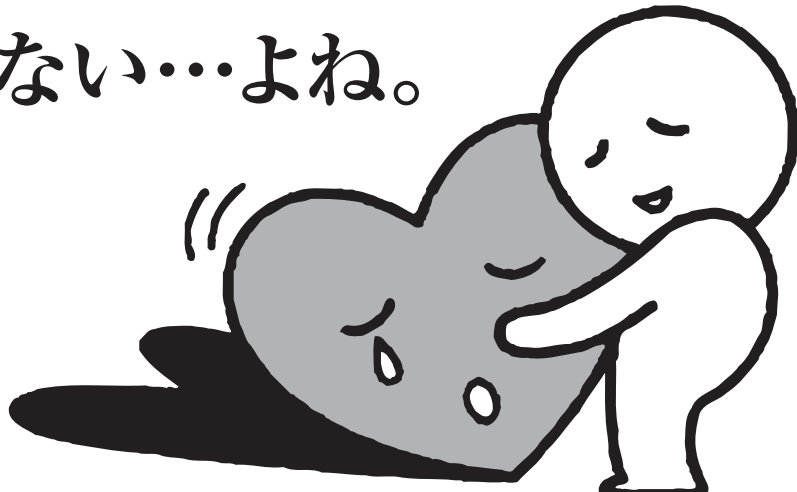
講演でマルカス氏は、インドと日本の文化の違い、インドの宗教状況などを「仏陀はヒンドゥー教では9番目の神。仏陀を崇拝するヒンドゥー教徒も多い」と語り、例を挙げわかりやすく解説。歴史や文化、宗教、哲学の異なる外国を学ぶことの大切さを語った。

ひとりで悩まず電話して!

ホントにつらい時って誰にもいえない...よね。



- 必要に応じて面接をしています。
- 手紙でのご相談にも応じています。
- 秘密は守られます。
- 相談は無料です(通話料はかかります)。
- 金銭的な援助はできません。
- 医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
- 特定の思想・宗教・政党などとは一切関係ありません。



NPO法人 国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター

03-5286-9090

年中無休、夜8時から翌朝6時まで

火曜のみ午後5時から翌朝6時まで

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 日本基督教団シロア教会内

事務局電話番号 03-3207-5040 (FAX 03-3207-5098)

●全国にある他の自殺防止センター

国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 06-6260-4343 毎週金曜、午後1時から日曜、午後10時まで

国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター 0985-77-9090 毎週日曜・月曜・水曜・金曜、午後8時から午後11時まで

国際ビフレンダーズ 岩手自殺防止センター 019-621-9090 毎週土曜、午後8時から午前4時まで

国際ビフレンダーズ あいち自殺防止センター 0568-70-9090 毎週土曜、午前0時から午前5時まで

●お問い合わせ先

日宗連 創立70周年記念式典を開催

将来へ向け課題の克服を

来年2月に宗教の役割を考えるシンポ

日本宗教連盟(日宗連、齋藤明聖理事長)は4月14日午前10時から、東京都中央区本願寺で「創立70周年記念式典」を開催した。

日宗連は1946(昭和21)年6月2日、教派神道連合会、全日本仏教会、日本キリスト教連合会、神社本庁により結成され、52年4月2日、新日本宗教団体連合会(新宗連)が加盟し、5団体となり、現在に至っている。

文化庁宗務課との公的な連絡機関として、日本の宗教団体の権利のため、また宗教行政の適切化のために活動している。また、「宗教の自由の尊重と擁護」「宗教文化の振興」などを掲げて情報発信を行い、生命倫理や教育などをテーマに各種シンポジウムやセミナーなども開催してきた。さらに平和活動も展開し、世界宗教者平和会議(WCRP/RFP)の発



創立70周年を迎え、日宗連の顧問や来賓が参列する中、齋藤理事長が事業の展開を語る

他者との共生、対話が重要

ミャンマーの宗教指導者を迎え公開シンポ

WCRP/RFP日本委員会(齋藤日鏡会長、杉谷義純理事長)は4月6日午後2時から東京・代々木の妙智會館本部で「ミャンマーの宗教指導者10人を迎えての公開シンポジウム」を開催。テーマは「We are All Other(他者とも)に生きる喜び」に向けた実践と課題で、宗教者、学者、市民ら約200人が参加した。

ミャンマーには同国の4宗教(仏教、キリスト教、イスラム、ヒンドゥー教)を代表する宗教指導者による「WCRP/RFP日本委員会」が設立され、諸宗教が協力して民族融和、子

北久日本基督教団元総会議長、岡野聖法解説会法主の3人の顧問(元理事長)に感謝状が贈られた。庭野顧問が代表で謝辞。理事長時代の創立60周年記念式典の思い出を語り、「今後も世のため人のために尽くすべく精進していきたい」と述べた。

最後に保積秀理理事長が、閉会の辞を述べた。

政治に関心をもち、まずは身近な話題から

18歳からの選挙を学ぶ会 講座

今年7月の参議院選挙から「18歳選挙権」が適用されることになり、政府や各政党は広報活動を展開しているが、市民レベルでも若者に選挙参加を呼びかける活動が始まっている。

東京都の杉並区や中野区の住民による「18歳からの選挙を学ぶ会」(単の根市民講座)は、昨年12月27日から、中野区産業振興センターで「18歳からの選挙

「依然として軍のエリートが経済を握っており、国民の大半が貧しいことから貧困問題の早急な解決が必要」と述べた。

また、並行して民族の分断を解消するために、宗教の文化間の対話を進め、他文化間の対話を進める必要があると述べた。

このシンポジウムは、ミャンマーの宗教指導者10人が参加した。ミャンマーには同国の4宗教(仏教、キリスト教、イスラム、ヒンドゥー教)を代表する宗教指導者による「WCRP/RFP日本委員会」が設立され、諸宗教が協力して民族融和、子

「行動と言葉」が大事であり、「神さまに好かれる生き方」を、筆者の経験と信仰から、平易な言葉遣いで

著者の山本行徳氏は、御嶽神社(東京都中野区、新日本宗教団体連合会加盟)の宮司で、年10回の祭典行事はもちろん、毎月9日には寄席を開くなど、地域社会に開かれた神社づくりの努力が続いている。その山本氏が「ひとりでも多くの人に、神さまの本当の姿を知って欲しい」という願いから執筆したのが本書である。

「行動と言葉」が大事であり、「神さまに好かれる生き方」を、筆者の経験と信仰から、平易な言葉遣いで

著者の山本行徳氏は、御嶽神社(東京都中野区、新日本宗教団体連合会加盟)の宮司で、年10回の祭典行事はもちろん、毎月9日には寄席を開くなど、地域社会に開かれた神社づくりの努力が続いている。その山本氏が「ひとりでも多くの人に、神さまの本当の姿を知って欲しい」という願いから執筆したのが本書である。

若者の貧困 苛酷な実態が

現場からの声を集め公開シンポ

「若者の貧困問題」を扱った書籍「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

庭野平和財団 現場からの声を集め公開シンポ

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

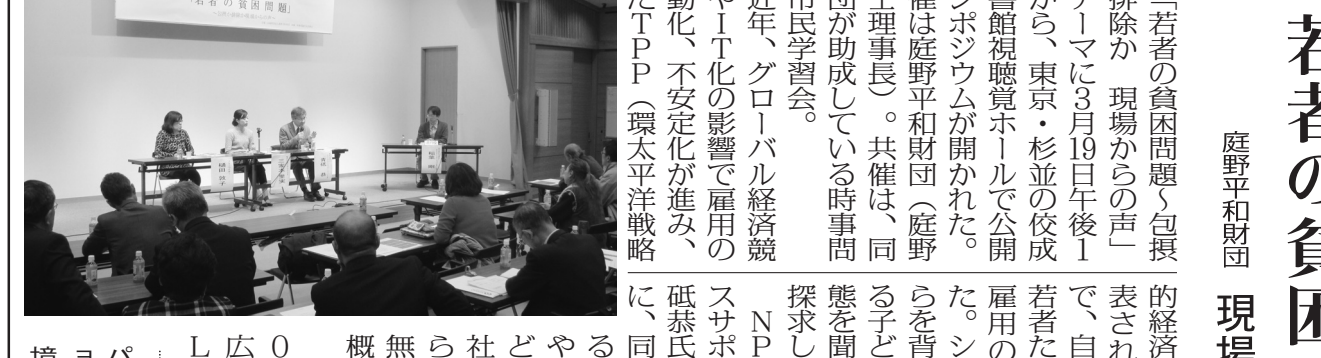
近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略



現場からの声を集め公開シンポ

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

「現場からの声」をテーマに3月19日午後1時から、東京・杉並の佼成図書館視聴覚ホールで公開シンポジウムが開かれた。主催は庭野平和財団(庭野浩士理事長)。共催は、同財団が助成している時事問題市民学習会。

近年、グローバル経済競争やIT化の影響で雇用の流動化、不安定化が進み、またTPP(環太平洋戦略

共生社会の実現へ

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会

「同宗連」総会・学習会